

# 厳選良問

～ 主語と文末の関係に違和感を覚えたら「×」 ～

分野	法律系分野	出典	社会福祉士試験(第32回-問題36)
----	-------	----	--------------------

===== 問題 =====

**問題** 社会福祉法に規定されている地域福祉に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域住民等は、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に努めなければならない。
- 2 市町村は、市町村地域福祉計画を市町村社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画と一体的に策定しなければならない。
- 3 都道府県は、福祉サービスを必要とする地域住民の地域生活課題を把握し、支援関係機関と連携して解決を図るよう留意しなければならない。
- 4 社会福祉を目的とする事業を営む者は、地域福祉の推進に係る取組を行う他の地域住民等に助言と指導を行わなければならない。
- 5 国及び地方公共団体は、地域福祉の推進のために必要な各般の措置を講ずるよう努めなければならない。

===== ポイント&解答 =====

## 資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★	★	★★

注) ★★★…必ず学習!!   ★★…できれば学習!   ★…余裕があれば確認   ×…学習しなくてOK

## 試験対策ポイント解説

今回の問題は、社会福祉法に規定されている「地域福祉」に関係する条文からの出題です。なので、条文を覚えている受験生にとっては、なんてことない簡単な問題ですが、社会福祉法に限らず、条文の数はとても多いので、なかなか覚えるのも難しいといえます。そんな時は、主語と文末の関係に着目して「そんな法律おかしい」と思うものを単純に「×」にしちゃいましょう。

例えば、選択肢1は「地域住民が体制整備をする」ってどうでしょう。「国か地方公共団体がやるべきことでしょう」と想像できれば「×」にしましょう。選択肢4も「社会福祉事業の経営者が、地域住民を指導する」となっています。「ずいぶん上から目線なことをいつているなあ」といった感じで考えられれば「×」にしましょう。

このような感じで「×」の選択肢を増やしていくことで、正解率も高まっていきます。困った時、分からない時には、試して下さい。

解答

5

